

気候情報

2008年3月の日本の天候

- 北・東日本で顕著な高温
- 東日本日本海側と北日本で少雨
- 全国的に日照時間が多い

3月の天気概況

5～6日の周期で低気圧が日本付近を通過したが、低気圧の通過後も冬型の気圧配置になる日はほとんどなく、移動性高気圧に覆われて晴れる日が多かった。低気圧の通過時には、全国的に曇りや雨または雪となり、西日本を中心にまとまった雨となった。このため、北・東・西日本では上旬半ばから下旬半ばにかけて、気温が平年よりかなり高い日が続き、特に北・東日本の高温は顕著で、ともに1946年以降3月として第2位の高い記録となった。一方、上旬を中心に大陸からの冷たい高気圧に覆われた沖縄・奄美では気温は平年並となった。日照時間は、東風の影響を受けやすかった北日本太平洋側で少なかったほかは、全国的に多く、西日本太平洋側と沖縄・奄美ではかなり多かった。降水量は、低気圧通過時に南からの暖かく湿った気流が流れ込んだ沖縄・奄美で多かった。一方、低気圧の影響が小さく、また冬型の気圧配置の影響もなかった東日本日本海側と北日本で少なかった。北日本日本海側の降水量は1946年以降3月として最も少ない記録となった。北日本の降雪の深さは1961年以降3月として最も少ない記録となった。

上旬：前半は上空の寒気が西日本から本州の東海上へゆっくりと通過した。このため、全国的には晴れたところが多かったものの、西日本日本海側を中心に雨の降る日があった。寒気の抜けた8日以降は全国的に気温が平年を大幅に上回るようになり、8日から9日にかけては大きな移動性高気圧に覆われて全国的に晴れて暖かい日となった。10日には南岸を低気圧が通過し、南岸の一部ではまとまった雨となった。沖縄・奄美では大陸から南下した冷たい高気圧に覆われて、晴れて気温の低い日が多かった。

中旬：14日と19日から20日にかけては日本付近を低気圧が通過し、太平洋側を中心にまとまった雨となり、本州南岸や伊豆諸島では大雨となった所もあった。そのほかの日は、移動性高気圧に覆われて全国的に概ね晴れとなり、東・西日本では最高気温が20℃を超えた所があるなど、平年より気温の高い日が続いた。

下旬：23日から24日にかけて日本付近を低気圧が通過し、全国的に雨となり、沖縄や四国の一部では大雨となった。その後、25日から29日にかけて、日本海を上空の寒気がゆっくりと通過した。このため、太平洋側を中心におおむね晴れとなったが、各地で大気の状態が不安定となり、降ひょうや突風が観測されたところ

ろがあった。30日から31日にかけては、低気圧が発達しながら南岸を通過し、東・西日本や沖縄・奄美ではまとまった雨となった。

3月の気候統計

月平均気温：北日本、東日本でかなり高く、西日本では高かった。北日本の一部では平年を3℃以上上回った。沖縄・奄美では平年並だった。

月降水量：北日本日本海側でかなり少なく、北日本太平洋側と東日本日本海側では少なかった。東日本太平洋側、西日本日本海側および太平洋側では平年並、沖縄・奄美では多かった。

月間日照時間：北日本太平洋側で少なかったほかは全国的に多く、西日本太平洋側、沖縄・奄美ではかなり多かった。

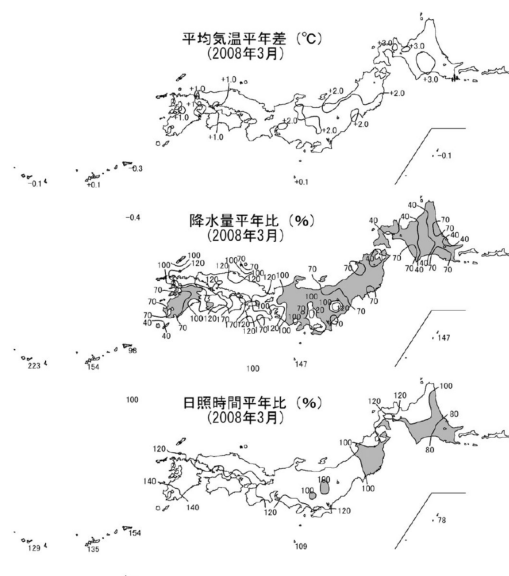
降雪・積雪：降雪の深さ月合計は、全国的に少なく北日本ではかなり少なかった。月最深積雪は北日本の一部で平年並だったほかは全国的に少なかった。

3月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（℃）
札幌 3.3 帯広 2.0 釧路 0.7 函館 3.7
青森 4.6 秋田 5.8 ほか16地点
- ・月降水量少ない方から（mm）
寿都 17.5 倶知安 32.5 青森 17.0
- ・月間日照時間多い方から（時間）
姫路 213.6 宮崎 232.7 枕崎 209.7
屋久島 152.7

（気象庁観測部統計室）

2008年3月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す。